



第80号 2008年3月

発行：萩ネットワーク協会

〒758-8555 山口県萩市大字江向 510 萩市役所広報課内

TEL 0838・25・3178 FAX 0838・26・5458

萩市ホームページ <http://www.city.hagi.yamaguchi.jp/>

主な目次

ふるさと文学散歩⑬ 奈良本辰也	P4
ズームアップ「吉谷隆」(北海道)	P7
東京の話題のお店	P8
夢追人「倉増均」(萩市玉江浦)	P12

笠山の椿群生林では「萩・椿まつり」が開催中です(～3月20日)。写真は昨年の椿写真コンテスト最優秀賞の「幸せの椿占い」(中野紀男、長門市在住)。また、萩市では4月から「ふるさと寄付推進事業」に取り組みます。萩を愛する方々から寄附を募り基金として積み立て、指定された事業に活用します。あなたのふるさと萩を応援してください!

あなたのふるさととは聞かれたら、

「萩」と答える



商標に **吉田松陰** **高杉晋作** **桂小五郎**
萩市が特許庁に異議申立て



「吉田松陰」「高杉晋作」「桂小五郎」の歴史上の著名な人物を、貸金等を業務とする東京の会社が商標登録したことが分かり、2月15日、萩市は「遺族等をはじめ3人を敬愛する郷土の人々や国民の社会的感情を著しく損ね、公序良俗に反する恐れがある」などとして、特許庁に登録取消しを求めて異議を申し立てた。

商標登録は、2005年6月に宮城県食品会社が出願。特許庁は拒絶していましたが、会社側が不服審判を請求。その後会社は破産し、この権利を受け継いだ東京の会社が11月16日に商標登録を認められました。「吉田松陰」「桂小五郎」は乳製品や

食肉、加工水産物など24種類の食品「高杉晋作」はそれらの食品に加え、酒類や清涼飲料などに商標登録されています。

萩市は、「萩市民が誇りとする松陰先生はじめ維新の志士たちの名を、縁もゆかりもない他地の第三者が商標登録し、独占排他的に商売の具として利用することは、市民感情としても、ご子孫の気持ちとしても許しがたく、また、商標登録の本来の趣旨に反するものと考える」と指摘し、2月20日には、山口県市長会で制度の見直しを求める要望が議決されるなど、今後、関係機関などに呼びかけ、商標登録制度の見直しを求めていく方針です。

萩市の観光客

前年比
6.8%増

97年NHK大河ドラマ
「毛利元就」以来

10年ぶりに150万人

萩市観光協会がまとめた昨年1年間の萩市の観光客数は、前年を9万5278人(6.8%)上回る150万5807人、宿泊客も前年を3万3880人(7.7%)上回る47万2530人と、いずれも2年連続の増加となりました。観光客が150万人を超えたのは、10年ぶり。同協会では、文化財を生かしたまちづくりや萩温泉郷の浸透、スポーツ・文化行事や多彩なイベントの開催、宿泊施設の整備の充実などがプラス要因と分析しています。

今年は、明治維新140年記念事業として萩博物館特別展やシンポジ



ウムなど様々なイベントが開催されるほか、7月から9月にかけて、JRグループが全国に向け山口県を集中的にPRする「おいでませ山口ディステイネーションキャンペーン」により、昨年以上の観光客が期待できそうです。

世界文化遺産候補に再提案

萩ー日本の近世社会を切り拓いた

城下町の顕著な都市遺産

九州・山口の近代化産業遺産群

ー非西洋世界における近代化の先駆け

萩市は、世界文化遺産国内暫定リストへの追加を目指して、一昨年11月に提案して継続審議となった萩城・城下町及び明治維新関連遺産群、九州・山口の近代化産業遺産群の2件について、昨年12月、文化庁に再提案しました。

新を外して萩城下町に限定。さらに萩往還を資産に加えました。鹿児島県など6県11市で共同提案した「九州・山口の近代化産業遺産群ー非西洋世界における近代化の先駆け」は、資産を9件増加し22件で提案。萩市関係は萩反射炉に加え、松下村塾と恵美須ヶ鼻造船所跡(中小畑)が資産となりました。

山口市、防府市、山口県と共同提案した「萩ー日本の近世社会を切り拓いた城下町の顕著な都市遺産」は、前回提案から明治維新6月頃に発表される予定です。



萩往還策マップ

萩往還は、毛利藩主が江戸への参勤交代での御成道として開かれました。日本海側の萩と瀬戸内海側の三田尻港(防府市)をほぼ直線で結び、全長は約53km。幕末には、維新の志士たちが往来し、歴史の上で重要な役割を果たしました。

この萩往還の見所を詳しく紹介しているのが「萩往還策マップ」。萩の巻、旭の巻、山口の巻、防府の巻の全4巻あり、萩往還の魅力が満載されています。お問い合わせは萩市観光協会(0838・25・1750)へ。

萩・三隅道路が開通！



県内の山陰側で 初の自動車専用道路

萩市椿と長門市三隅を結ぶ道路として「国道191号萩・三隅道路」15.2kmのうち、明石～三隅インター間7.1kmが、2月23日に開通しました。



飯井第一橋

三見～三隅地区間の国道191号は、カーブが多く、豪雨時の土砂災害や冬場の積雪、連続雨量150mm以上での通行止めが度々発生していましたが、開通により、こうした問題が解消され、地域の活性化が期待されます。

萩・三隅道路は、平成4年に国の直轄事業で計画された長さ15.2kmの自動車専用道路で、将来は山陰自動車道に組み入れられる予定です。総事業費は約780億円です。今回の開通区間は約400億円。この区間は、山口県内の山陰地方初の高規格幹線道路の開通となります。

所要時間は、萩市～長門市間が35分から約32分、全線開通されれば約25分に短縮されます。

残る三見明石～椿間は、国体が山口県で開催される平成23年度の開通を目指して、現在工事が進められています。

寄附金にかかる税金の軽減措置

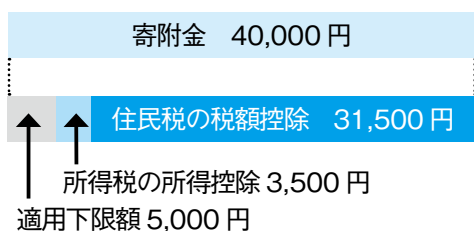
生まれ故郷などの県や市町に寄附すると、住民税の一部控除が受けられる「ふるさと納税」（地方税法の改正法律案）が国会で審議中です。

法案が成立した場合、寄附金額から5,000円を控除した額が住民税から税額控除（住民税の約1割を上限）されます。

■寄附金控除のイメージ

【例】夫婦と子ども2人、給与収入700万円（年額）

○住民税30万円で、4万円を寄附した場合



あなたのふるさと 萩を応援してください！

萩市がふるさと寄附推進事業に 取り組みます

萩市では、個性あるまちづくりを推進するため、萩らしい魅力ある政策を全国にアピールし、広く萩を愛する人々から寄附を募る「ふるさと寄附推進事業」に取り組みます。

萩ネットワーク協会会員の皆様には、この事業について別途ご案内しますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

【事業の概要】

■寄附金の使途を寄附者が指定
寄附金の使途は、次に例示する事業（予定）などから、寄附者が指定できる仕組みです。

寄附金は、「あなたのふるさと萩応援基金」に積み立て、指定された事業に活用させていただきます。

【寄附金の使途】（例）

- ① まちじゅう博物館推進事業（歴史・文化的遺産の保存・活用等）
- ② 中央公園整備事業（樹木、ベンチ、公園灯）
- ③ 新図書館整備事業（図書等）
- ④ 各地域の振興のための事業
- ⑤ その他目的達成のために、市長が必要と認める事業

※②は、樹木、ベンチ、公園灯について、樹種、規格により1本あるいは1基単位で指定していただくもので、施工時期に併せて別途募集する予定です。

■寄附者に萩の特産品を贈呈

萩市へ寄附された方に、感謝の気持ちとして夏みかんなどふるさと萩の特産品を贈ることを検討しています。また、一定額以上寄附された場合は、顕彰して末永くその功績を称えます。

■寄附金をお寄せいただく方法（予定）

- ① 寄附申出書により萩市へ寄附のお申し込みをしていただきます。
- ② 萩市から納付書を郵送します。で、最寄りの郵便局、銀行等で納付していただきます。
- ③ 萩市から寄附金の受領を証明する書類等を郵送します。

問い合わせ先 TEL 0838-851515
山口県萩市企画課

0838-2638008、FAX
0838-2638008、Eメール
kikaku@city.hagi.yamaguchi.jp

奈良本辰也と萩



(1913~2001)



岩波書店(昭和26年)

歴 史学者として知られる奈良本辰也は、山口県出身とい

うこともあつて長州に対する思いはことのほか強かつたように思います。それは著書に「明治維新論」「近世封建社会史論」などのほかに「吉田松陰」「高杉晋作」「維新人間像」「ああ東方道なきかー前原一誠」など所謂長州ものが多いことでも窺えます。

大正2年に周防大島町に生まれた奈良本は、昭和13年、京都大学をでると教職に就き、戦後は立命館大学の教授として近代社会史の分野で幅広く研究し、とりわけ明治維新史の分野で大きな評価を受けました。昭和44年、大学紛争を機に退官し在野の研究者として著述、講演等に活躍しました。なかでも昭和26年に発表した「吉田松陰」は、「時代の要請に合目的的な松陰像」という長い間の呪縛を解き放つたとして大いに注目されました。現代の「松陰像」の捉え方は奈良本に始まったと言われま

す。

奈良本の本を改めて読み返してみましたが、松陰の著作や書簡を整理した「松陰全集」に拠った淡々とした記述で、これが画期的なものと逆に驚きました。

明治維新史学会の会員で萩博物館の研究員道迫真吾さんは「日本が軍国主義へと突き進んでゆく過程で、松陰は国のために死ぬことを厭わない、いわゆる軍国少年の養成に利用されてきました。しかし、奈良本によつてはじめて松陰はその型枠を外され、時代と対決した一人の人間としての松陰を観ることが出来るようになったのだと思います」と解説してくれました。道迫氏のいうように、奈良本以前の作品があまりにも時代の国家観に追随し、或いは時代が要請する国民像としての松陰を描き続けてきたとも言えるでしょう。

奈 良本の萩の旅は昭和48年、萩に下つて4年、60歳の頃

です。

「萩はいつも不思議な静けさの中にある。それは萩という街が、百年前に歴史を凍らせてしまったからであろうか。近世三百年の歴史をそこに閉じこめて、そのあと百年の変化は、できるだけ表面に出さないように街全体が懸命に努力している。萩の寂かな風景に接して思うのは、まずこのことだ。」

歴史学者奈良本辰也は、紀行文「萩、津和野の旅」をこう書き出しています。そして「萩の人たちはきわめて誇りやかである。明治維新という近代の黎明をもたらし

た歴史の主役が、自分たちの先祖であることを、そして萩を訪れる人の多くが、たんに観光を目的としているのではなく、維新の故郷を求めてここへ現れるのだということを、充分に理解しているからである。」さらに「私がいくたびも萩を訪れて飽きないのは、勿論萩が希にみる風光明媚な景観の中にあるということにもよるが、

ここが維新の出発点であり、したがって歴史家としての私の原点でもあるということによっている。」と。

大 方の作家達の旅紀行は「楽しげで表層的」なものと相場が決まっていますが、奈良本のそれは趣が違います。自身が述べているように萩への思い入れが深く、萩を藩都とした毛利藩政の260年と明治維新後の100年をしっかりと捉え、維新成立の裏側にある秘めたる精神風土を検証する旅ともいえます。

奈良本は田床山から市街地を鳥瞰したあと、東光寺から吉田松陰の墓地に詣で、さらに簡素な旧居跡に立つて松陰の内面に迫ります。そして玄瑞、晋作、長井雅楽、坪井九右衛門、村田清風等の史跡を訪ね藩都萩の長い歴史のひだをなぞつてゆきます。

「毛利藩というものには、どこか君臣一体感というものがあつたのではないだろうか。」

のではないだろうか。

「師の熱誠を秘めた静かな話しぶりに耳を傾けながら、弟子達ばかりと語られる言葉をこえた意味を汲み取っていたらう」

「武士の生き様と言う意味で長井雅楽ほど武士らしい生涯を持った人物はいないだろう」

「歴史は時として異なる観点から光をあててみる必要がある。光源の置き方次第で、その像は大きくも小さくもなる」

歴史家、奈良本の萩の旅は、深い思索とともにすすむ。

萩 の地で萩高校の存在感は格別のようです。萩高を卒業して全国に散った学生達は、夏休み帰省すると「萩学生会」と言う名で活動するのが旧制中学時代からの伝統だったといひます。弁論部、後の新聞部OBが中心で毎年弁論大会を催して氣勢を上げていたといひます。昭和41年の夏は、奈良本辰也を招いて講演会を開い

吉田松陰の音楽劇

帰り花

東京で講演

1月25日から2月3日にかけて、東京・青年座劇場で幕末の志士・吉田松陰を主人公にした音楽劇「帰り花」が公演されました。

「帰り花」は、吉田松陰の半生と、松陰の教えを受けた松下村塾の若者（高杉晋作、久坂玄瑞、伊藤博文など）たちが松陰の志を引き継いで新しい日本を創る姿を描いた舞台で、主人公・松陰を宝塚出身の大浦みずきが演じています。

この作品は、平成17年度文化庁舞台芸術創作奨励賞佳作受賞作。演出を手掛けた宮田慶子さんは、現代演劇で最も活躍著しい演出家の一人で紀伊国屋演劇賞など受賞歴も多数。今回の公演に先立ち「松下村塾で子弟を教えた教育者としての印象が強かったから、人間的なイメージをつかむため萩に行ってきた」そうです。

―舞台を鑑賞された鹿野俊二さん（東京指月会幹事長）の感想「会場は150人程度で満員



吉田松陰没後 150 年記念

創作ミュージカル「SHOW IN」公演

2009 年、吉田松陰没後 150 年記念として創作ミュージカル「SHOW IN ～若き志士たち～」が公演されます。

98、99 年に萩市の市民劇団、シアター 365 萩オフィス「劇団さくら組」が公演して好評だったこのミュージカルは、吉田松陰の生涯と彼が遺した数々の現代に通ずるメッセージを歌、ダンス、芝居を織り交ぜたオリジナル舞台です。

今年 3 月に出演者約 55 人とスタッフ 30 人を一般公募し、2 年かけて舞台を創り上げていきます。公演は、09 年秋（11 月予定）、萩市民館で開催されます。皆さんお楽しみに。

の観客、若い人が多く熱気のある雰囲気での演劇でした。主人公吉田寅次郎の人となり、思想を分かりやすく、現代的に、時には歌で表現し、ほぼ史実に沿った物語になっており、舞台展開は早く、3 時間の舞台を飽きさせなかった。野山獄での久子との出会い、松陰が思いを寄せたシーンなど、ベールにかかった松陰像を女性が演じ、ある面の松陰の人間らしさを感じさせた。歴史の先駆けとなりながら、実らせること

なく、時代の流れに呑み込まれていった志士たちの姿を先駆けの花「帰り花」とした題名も素晴らしい。生演奏をバックに歌い時にはタップダンスなど踊る音楽劇、女性が演じる松陰は大変斬新で、観る機会の少ない音楽劇が地元萩で、また山口県下の各地で公演されれば、今までイメージしていた松陰像をより広く理解してもらえらるだろう、と思いました。」

たといいます。

開催準備に追われた下瀬信雄さん（シモセスタジオ代表）は「あの年は川渕正臣君や澤井隆夫君らが中心でしたかね。奈良本教授の招致には立命館の川渕君や京大の野村興児君ら京都組が当たったと思います。謝礼もほとんどなかったように記憶していますが、ある意味よき時代だったとも言えます。当日の演題は確か「現代における松陰像」でした。講演会と懇談会は市民も交えて盛況でした。」

り自分の心にとどるとすれば、時間がいくらあっても足りない。私の旅は、吉田松陰にはじまつて、吉田松陰に終わったようだが、しかし、旅は終わったけれど、私と松陰との交情は今後もつづくはずである。私自身、年を重ねるにつれて、彼に対する興味は多様になっていく。むろん、それは松陰にたいしてだけでなく、萩のすべてに、である。思うに、萩は志をもつて訪ねる街である。感受する者の心の深さ次第で、この寂かな街は、無限に多くの人間の物語を語りかけてくるのだから。」

奈

良本のエピソード。「萩のながい旅は終わった。ながいというのは私が歩いた時間をいうのではない。歩くだけなら、萩は小さな城下町である。そして時間ばかりかからない。けれども、一つの墓石、かたむいた門、侘びしい屋敷跡等々、そのどれにも濃密な人間のドラマが秘められていて、そのドラマの中に生きて死んだ個々の人間の生涯を、ひとりひと

奈良本の紀行は他のどの作家のそれよりも重厚です。萩という町の精神風土を内側から浮かび上がらせるに充分です。奈良本は松陰の人間の本質に迫っただけでなく、萩を訪れる人々、とりわけ若者達に「志をもつ人生」を問いかけているのかもしれない。

（高井 誠 エッセイスト 日本ペンクラブ会員）



中公新書(昭和40年)



朝日新聞社(昭和48年)

3月新校舎完成

萩商工

昨年1月から建設をしていた萩商工の新校舎が、3月24日に完成する予定で、4月から新校舎での授業が始まります。

新校舎は、4階建ての3棟で、場所は現在の萩工業校舎の裏側。通常の教室と、商業系・工業系の実習施設を備えています。

これまで2年間、商業系の実習は、週2回江向の萩商業校舎まで通うという不便な面がありました。4月からは、新校舎で実習が受けられます。

花園、次こそ勝利を

萩工業・萩商工

昨年12月28日、近鉄花園ラグビー場（東大阪市）での「全国高校ラグビーフットボール大会」に、萩工業・萩商工ラグビー部が、6年連続13回目の出場。秋田中央高校に、10対29で敗れましたが、後半は伝統の展開ラグビーを發揮。終了直前に翌年につながるトライを決めました。学校再編のため、3月に卒業する3年生が最後の萩工業。終盤は自分たちの展開ラグビーができた。この悔しさを来年につけてほしい」と阿武祐馬主将。萩工業の伝統が、新たな萩商工ラグビー部へ受け継がれていきます。

春のセンバツ甲子園

萩出身の4人

3月22日から、阪神甲子園球場で開催される選抜高校野球大会に、県立華陵高校（下松市）が21世紀枠で出場しますが、その華陵高校野球部で萩出身の4人の選手が、夢の甲子園の舞台に向けて練習に励んでいます。

4人は、安達央貴君（萩東中卒）、木村太紀君、廣玉智也君（以上越ヶ浜中卒）、小枝成太郎君（三見中卒）の1年生。特に、安達君は1年生ながらも、身長182cm、昨年の県大会（初優勝）と中国大会（ベスト4）で、背番号10を背負う将来性豊かなピッチャー。4選手の活躍が楽しみです。

～羽ばたく若人！426人～ 3月の高校卒業者数

学校名 (クラス数)	合計	
	男	女
萩高等学校 (普通科5、理数科1)	153人	
萩商業高等学校 (総合ビジネス科2、 国際情報科1)	男75人	女78人
萩工業高等学校 (機械科1、電気科1、 建設工学科1)	105人	
萩光塩学院高等学校 (普通科3)	男97人	女8人
奈古高等学校 (生物資源学科1、 生活総合科学科1)	61人	
	男18人	女43人
	59人	
	男21人	女38人

光塩卒の若手ソプラノ歌手

澤江衣里さん コンサート

▶ 3月28日(金)
午後6時30分～
▶ 島根県芸術文化
センター「グラ
ントワ」
▶ 一般 2,000 円、
高校生以下 1,000
円



萩光塩学院高等部を2001年に卒業した澤江衣里さんのコンサートが益田市のグラントワで開催されます。

澤江さんは、益田市の出身。萩光塩学院高等部から、国立音楽大学声楽科を首席で卒業、東京芸術大学大学院修士課程を修了。現在は、バッハを中心に宗教音楽を専門とする、日本を代表する本格的なバロックオーケストラと合唱団である「バッハ・コレギウム・ジャパン」で活躍中です。

澤江さんは、萩光塩学院で合唱部に入部し、本格的に声楽を始めました。在学中、第54回滝廉太郎記念音楽祭で第2位に入賞しています。その際、イ

ンタビューした萩ネットワーク（2000年11月号）に将来の夢を次のように話しています。「これからずっと声楽をやっていききたい。今回のコンサートで、伴奏の先生のピアノを聴きとても感動しました。私も人に感動を与えられるようになりたい」。

今回のコンサートでは、からたちの花、私のお父さん（ブッチーニ）などが演奏されます。コンサートの主催は、澤江さんが高校時代にピアノのレッスンに通っていた陶山美智枝先生が代表の実行委員会。

「澤江さんは、日本語をとてもしきれいに歌う方です。ぜひ聞きにお越しください。」

吉谷 隆 さん

(北海道恵庭市在住 64歳)



これからの時代は、広域的な考え方で
発展されることを祈っております。

昭和47年、29歳で独立

私が萩を離れて47年も経とうとしており時代の流れの速さを感じざるを得ません、そして来月3月で65歳になります。

自分の人生を振り返ってみた時に、育った18年間は忘れることの出来ない私にとっての懐かしい「ふるさと」です、しかし小学校1年生の時に漁で父親を亡くし、家も貧しく若い時代の萩の記憶は苦しいことの連続でしたが母親が苦勞して高校まで行かせてくれました、このことが今の私の人生の原点だと思っております。

高校を卒業の後、就職にて大阪の船会社で8年間勤務、昭和44年転勤にて北海道へ若い頃からの独立志向と北海道に来て明治時代の開拓にて来られた先達の方々の開拓魂が私の気持ちに火をつけて、無謀にも昭和47年、29歳の時に独立することを決意、丸吉興業(株)を設立10名のスタッフからスタート、現在は3社100名体制のスタッフになりました。

誰も知り合いない北海道の地で他人の方々と知り合い、人を信用して生きるしか方法もなく、結果として今思えばその事が今まで36年間会社経営を継続出来たことだと思えます。仕事の業種は3社で10業種ありますが主に運輸業、土木工事業、鉄鋼加工業、スクラップ業、不動産賃貸業とこの時代に適合する業種もあれば時代に合わず苦戦している業種もあります。特に昨今北海道は公共事業削減の影響を一番うけて建設業界の淘汰の時代となっており、私達企業もこの影響をもうにうけております。スクラップは韓国、中国への輸出が非常に好調で好業績となっており、運輸業は油の値上げの影響をもうにうけて非常に苦戦もしております。このような状況の中で今年私の年齢も65歳、これを機に後継者に社長の座を譲る決断も致しました。

しかし、会社経営も簡単なこと

ではなく、今日までに3回の大きな山(倒産してもおかしくない状況)があり人生なかなか楽をして渡らせてくれないことを実感もいたしました、幸いにも多くの方々に助けて頂きながらその苦境を乗り越えてまいりました。

恵庭市は山口県人が開拓した村

時々、自分の人生を振り返って見て何故私は北海道のこの地にいるのだろうかと考えて見ますが、現在住んでいる場所が「恵庭市」で札幌と千歳空港の中間、会社の本社所在地が隣の北広島市、恵庭市の豊栄神社にお参りしてわかったことは「恵庭市」は山口県人、60世帯、250人の方々が明治19年に苦勞して開拓にて切り開いた村でそのことを知らずにこの

町に住んだ私は何かしら先祖の導きか大きな自分の運命の糸を感じながら今、生活を、また仕事は広島県人が開拓された隣の北広島市に本社を、自分自身の人生の不思議さをいつも感じております。よく北海道でどちらのご出身ですかと聞かれることが多々あります、山口県の「萩」ですと答えましたと良いところでお生まれになりましたねと言われます。そんな時は私にとりましては萩で生まれたことは誇りです、しかしこれからの時代は萩の小さな町の事だけでなく山口県全体また中国地方全体を視野にいった広域的な考え方で物事を考えながら発展されることを遠くの地北海道から祈って降ります。

私も北海道を「第2のふるさと」として北海道の為に頑張っ

プロフィール

1943 (昭和18) 年3月、山田玉江浦1区生まれ。64歳。北海道恵庭市柏木町在住。昭和36年萩商、商業科卒業。

- 昭和36年 関光汽船株式会社勤務
- 昭和37年 大山運輸株式会社勤務
- 昭和48年 昭丸吉興行株式会社設立し独立
(現在は丸吉運輸機工と合併)
- 昭和54年 丸吉運輸機工株式会社設立
- 昭和62年 丸吉金属株式会社設立
- 平成8年 東北丸吉株式会社設立
(現在なし)
- 平成9年 株式会社ドーエイ設立
- 平成14年 有限会社セイウン設立
(現在は丸吉運輸機工と合併)
- 平成20年 丸吉運輸機工(株)・丸吉金属(株)・ドーエイの丸吉グループとして3社、100人体制。



割烹 ひがしの

(東京・新宿)

J R山手線・新大久保駅を降りて徒歩1分、西側の通りにある食事処。店の前には何と「萩のけんさきいか」の幟がはためき、「山口県萩港直送の魚を使っています…」と大書きされた看板が。店内にも瀬付きアジや萩あまだいなど、萩のブランド魚のポスターが貼り出され、壁面の品書きにも萩産の魚料理がズラリと並ぶ。ご主人の穴沢さんにお話をお聞きすると、萩から新鮮な旬の魚介を航空便で取り寄せ、お客様に提供していると言う。

萩の魚を使うきっかけとなったのは、以前この店に勤務されていたお弟子さんが萩の出身者、「萩の魚は美味しい」というので、試しに取り寄せてみたら、これが品質・鮮度とも抜群で、これは自信を持ってお客様に出せる！！と、一発で気に入ったとのこと。一般の方でもふらりと入りやすい店構え、一品料理や定食のほか、鍋料理も人気のメニュー。間口は狭いが奥が深く、カウンターとボックス席の奥には座敷も完備、各種宴会も可能。穏やかな笑顔を絶やさない気さくなご主人のお人柄も人気の秘密。



□住所 東京都新宿区百人町 1-11-25
□TEL 03・3367・0432



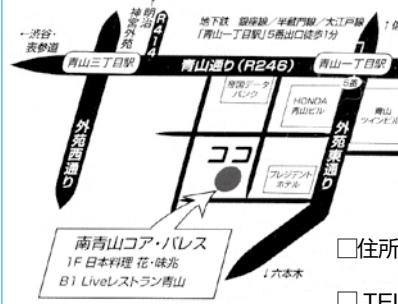
花・味兆

(東京・青山一丁目)

萩ネットワーク 67号 (2006年1月号) 掲載の岸田商会、同社が計画中的の新規事業として紹介した東京青山の日本料理店「花・味兆」(はな・みちょう)を訪れた。青山一丁目交差点、ホンダショールームから1ブロック南西側にあるシックな外観の日本料理店。店内も白木を基調とした落ち着いたムードで、壁面には萩民謡「男なら」の大きな額が掛けられている。ビールはもちろん「ちょんまげビール」が用意されている。

開業して約1年半、会食や商談などで多くのお客様に利用されている。現状は全国各地の旬の食材を使った懐石料理が中心、今後は萩産の魚貝類や野菜類を積極的に取り入れていきたいと料理長：生井さんは言う。高校の同窓会などで萩出身の方々の利用も多く、その際には萩産の焼き抜き蒲鉾がサービスされるとのこと。

営業時間は午前11時30分～午後2時30分と午後6時～午後10時、定休日は日曜日・祝日。



昼食は1,260円(税込)より、懐石料理5,250円～10,500円(税込)。

□住所 東京都港区南青山2-4-4 南青山コアパレス
□TEL 03・3746・2552

(財)商工総研主催の懸賞論文

中澤さかなさん(道の駅・萩しーまーと駅長)が本賞に!!

政

府系の金融機関「商工中金」のシンクタンク部門である(財)商工総研主催の懸賞論文に、道の駅・萩しーまーと駅長・中澤さかなさん執筆の論文「実践から生まれた、地域活性化のための小規模ビジネスモデル」が最高賞である本賞を獲得しました。

道の駅・萩しーまーとの設立から運用にかかわるプロセスをまとめた8000字のレポートで、地域の実情を冷静に分析し、地に足の着いたマーケティングの実践を通して、地域振興のひとつのビジネスモデルを構築したことが評価されました。「賞金もさることながら、地方都市における地域活性化のモデルとして全国区で評価頂けたことが、素直に嬉しい」と受賞の感想。

道の駅・萩しーまーとに視察で訪れる団体は年間50組を越え、その中から、このビジネスモデルをベースに使った新規商業施設が県内外で続々と開業、計画進行している案件も複数あるとのこと、萩で産まれたビジネスモデルが全国区に移出されています。なお、本論文は論文集および商工総研のホームページで公開されます。ホームページアドレス <http://www.shokosoken.or.jp/>

shokosoken.or.jp/



野村萩市長 NHK「ちゅうごく 再生プロジェクト」に出演！



「知恵を活かし、
独自の福祉や教育
を創り出したい」

「地方再生に秘策あり!?」大臣 と中国地方住民が大激論！

2月22日（金）午後7時30分から、NHK総合テレビで中国地方に放映された「ふるさと発スペシャル ちゅうごく再生プロジェクト」に、野村萩市長が出演し、地方再生の重責を担う増田寛也総務大臣や、中国地方の自治体首長、有識者、住民など15人と、地方再生について議論しました。

一つ目のテーマは、政府が昨年11月に発表した「地方再生戦略」いわゆる「増田プラン」。自治体が独自に考えた再生のプランに、国がお金を出し支援するという計画です。これについて、野村萩市長は「地方の知恵を活かすプ

ランと捉えている。ユニークなものや一生懸命なアイデアなど、代表的なプロジェクトの数を増やすよう選定してほしい。地方独自の福祉や教育のきつかけになると思う」と述べました。

もう一つは、疲弊する地方の財源をどうすべきかというテーマ。国の税源を地方に移譲させ、地方の自立を図らせようという考えについては「地方は、常に住民の監視下にある。そういった基礎自治体の中で、行政がきちんと判断して優先順位を考えることが、自治を行うことだと思う。地方分権が計画どおりに実行され、財源が自治体に移っていくことを期待している」と、地方再生への道筋について意見を述べました。



おいでませ山口館
（東京・日本橋）

東京駅八重洲口から徒歩5分、日本橋の大型書店「丸善」となりの複合ビル1階に山口県が出店する観光情報拠点&アンテナショップが「おいでませ山口館」。萩をはじめとする山口県の観光情報やイベント情報が入手できるのはもちろん、山口県を代表する各市町の特産品が多数展示即売されている。一夜干しや海草・練り製品など海産物を中心に萩市産の商品も多く、在庫の無い商品でもリクエストで取寄せも可能です。この時期の人気商品は、やはりフグ製品、2人前のトラフグ鍋セットが1,300円前後と価格もリーズナブル。また、長州鶏や鯨など山口県産の食材をふんだんに使用した特製弁当450円も販売される。店舗前のオープンスペースでは、四季折々にイベントも開催され、山口県出身者をはじめ多くのお客様で賑わう。特産品の情報やイベント情報はタイムリーにHPに掲載されるので、時々HPをチェックして下さい。



- 住所 東京都中央区日本橋 2-3-4 日本橋プラザビル1階
- 営業時間 午前10時～午後9時（日、祝日、年末年始を除く毎日）
- TEL: 03-3231-1863
- FAX: 03-5205-3387
- URL <http://www.oidemase-t.jp/oidemase/index.html>

会員からのお便り
めーるぼっくす

○榑崎剛

（京都府京都市）

毎々「萩ネットワーク」をお送りくださり有難く厚くお礼申しあげます。第79号には、叔父榑崎勤（私の父鉄香の日本画家の実弟）関係に掲載いただき有難うございました。亡き叔父も喜んでいることと存じます。

鉄香はご承知のとおり、榑崎彌八郎↓清矢↓東陽↓鉄香&勤&文子と続いています。彌八郎の名前は処刑された野田刑場跡の石碑に刻まれ、墓は萩川島の善福寺にあり、東光寺御主君の墓前にもございます。書簡等は萩博物館に寄贈しており、鉄香の絵画は山口県立美術館および萩市内の旅館料亭に多く所蔵されております。

○大塚早奈江

（東京都世田谷区）

いつも大変楽しく購読しています。幼い頃から転勤族でふるさとという土地を特に持たない私にとって大好きだった祖父が眠る萩からの知らせは、とても大切なものです。

松陰神社の近所として、これもなにかの縁かと思っています。高杉晋作生家の近所の方が「東京の松陰神社をよろしく願います」と、言われたことを思い出します。

それと近所のスーパーでは、井上商店のしそわかめが売られています。萩と世田谷は友好関係だからでしょうか。先日世田谷ボロ市という祭りでも萩の出店ブースがあり、こちらにいながらにして萩を感じられるところが多々あり、とても嬉しいかぎりです。

阿武火山群を地質遺産 「ジオパーク」に！



萩市や阿武町には、約40の小さな火山が分布し、「阿武火山群」と呼ばれています。この火山群を調査している山口大学理学部の永尾隆志准教授が、1月30日に阿武町で開催された新春懇話会で講演し、阿武町福賀の伊良尾山の農道工事現場にあらわれた地層の保存を訴えました。

クラス。また、火山自体がろ過器で伊良尾山の名水を作り出している」と説明。また「阿武火山群は特殊な火山地形が特徴であり、火山を作っている溶岩や地層を観察することは非常に歴史的価値がある。山口県唯一無二の地層をぜひ残して欲しい」と強調しました。

山口大学理学部では、この火山群を地質遺産として、ユネスコが提唱するジオパーク※に登録するよう働きかけていくことにしており、阿武町では、今後、日本ジオパーク地質遺産を視野に入れ、研究協議することを検討しています。

※ユネスコの支援のもと科学的にみて特別に重要で貴重な、あるいは美しい地質遺産を複数含む一種の自然公園

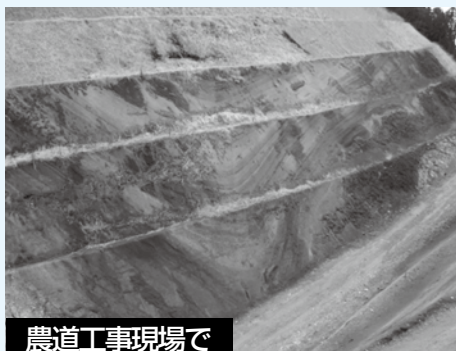
「伊良尾山火山は、日本列島がアジア大陸と陸続きになっていた約30万年前に噴火した阿武火山群最大の火山で、マグマのしぶきを花火のように噴き上げるストロンボリ噴火により、マグマが堆積し、現在の高さ150mを作り上げた。その後、溶岩が15kmにわたって流れ出し、萩市弥富、豊ヶ淵、龍鱗郷など弥富の台地を作り出し、その長さは日本の溶岩流でもトップ



入良尾山火山

(阿武町福賀地区)

ストロンボリ噴火によりマグマが堆積し150mの高さになりました



農道工事現場で発見された地層

(阿武町福賀地区)

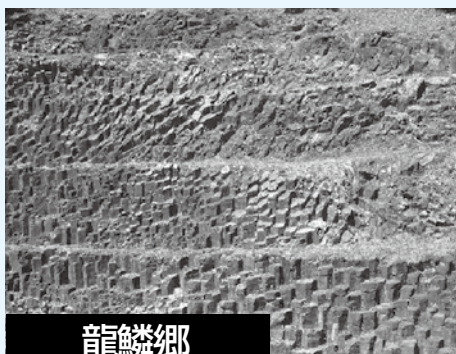
火山弾や火山礫が降り積もってできた地層



豊ヶ淵

(萩市弥富地区)

岩流が冷えて固まるときに規則正しく六角形となってできたものです



龍鱗郷

[山口県指定天然記念物]

(萩市小川地区)

川に流れ込んだ溶岩が、急激に冷やされたために、固まりながらひび割れ、その後土地が盛り上がったと考えられています



田町商店街に新規出店相次ぐ 賑わい復活に向け、動き出しています

空き店舗の増加で悩まされていた萩市中心部の田町商店街で、民間主導による町づくりが取り組まれ、今まさに生まれ変わるうとしています。2月以降、アーケードの空き店舗、空き地への新規出店が相次ぎ、3年前まで約20あった空き店舗や空き地が、10店舗まで半減する見込みとなりました。

スーパー、法律事務所、農産物市場など多彩な顔ぶれ

2月2日、旧八木百貨店跡地に、「田町市場・業務スーパー」がオープンしました。長年期待されていた食料品や日用品などを扱います。

6日には、萩ひまわり基金法律事務所が旧石川紙店に開設。弁護士不足解消のために設立された県内初の公設事務所です。

また、6月初旬には、地元のみちづくりを目的とした「株お成り道」が、旧しらがね書店跡地に、農産物市場「萩の台所とれたて市場」の出店を計画。新鮮な農産物を販売し、隣に農家レストランも開店する計画です。

萩の札場を再現 老朽化が進む「四方館」に

田町商店街近くにあり老朽化が進んでいた、精肉や製菓、飲食店などが入居する集合店舗施設（四方館）を、市が20年度に買収し、藩政時代にあった「唐樋札場」を再現する計画も進められています。札場は、参勤交代で通る「御成り道」沿いであり、萩往還や石州街道などの出発点として交通の要衝でした。

萩で生まれた大実業家 藤田傳三郎を称えて



藤田伝三郎

(1841-1912)

萩城下に生まれ、24歳のとき、高杉晋作に師事し、奇兵隊に入隊。維新後はあえて官途につくことを求めず、「実業界に入りて国家に貢献する」と大阪に出て実業の世

界に進み、大阪商法会議所（大阪商工会議所の前身）を創設し、二代目会頭を務めました。

明治7年藤田組を創立し、世紀の大事業、児島湾干拓を手掛けました。また大阪経済界の重鎮として活躍し、東洋紡や南海電鉄、毎日新聞、藤田観光などの礎を作りました。

また、萩出身の井上勝鉄道局



明倫館水練池そばにある、藤田翁の寄附を称える石碑「美拳鴻徳」

長（長州ファイブの一人）のもと、日本人のみによる最初のトンネル工事、京都～大津間の逢坂山トンネルを完成させました。
郷土萩にも、明倫小学校講堂建設等へ多額の寄附をしています。

香雪の会

～藤田翁の偉業を顕彰する会～

「香雪」とは梅の異名で、藤田翁の茶道での号にちなみ、萩の南片河町にある旧藤田家の庭園を香雪園と呼ばれ、藤棚として整備されました。

昭和20年代後半頃まで、5月には藤の花の名所として、また広い敷地で少年たちが野球をするなど、市民の憩いの場として親しまれていました。その後NHKのラジオ用アンテナ鉄塔が建ち、昔の面影がなくなっていました。

周辺の萩博物館の開館と外堀も整備されきれいになったことから、藤田翁の功績を顕彰しようと、3年前から市民グループ「香雪の

にぎり酒「香雪」発売



香雪の会会員の中村酒蔵（萩市新川、中村正彦社長）が、2月に、しほりたてにぎり酒「香雪」を発売しました。

にぎり酒は、寒い冬の時期に造られ、モロミを粗く濾しただけで、火入れをしないもの。

お勧めの飲み方は、冷やして軽く振り、中の白い部分と透明な部分を混ぜるようにして飲むと、舌ざわりとコクのあるモロミの風味が楽しめます。若い女性からは「甘口で口あたりがよく、飲みやすい」、また年輩の方からは「どぶ

ろくを思い出す」と好評。価格は900円（720ml）と360円（300ml）。

「香雪園への思いを込めて名付けました。2年前に発売した純米吟醸酒『藤田伝三郎』とセット（いずれも720ml、箱入り、3000円）でも販売しています」と中村社長。

■購入申し込みは、中村酒蔵（0838・22・0137）へ

★プレゼント 香雪を抽選で3名様にプレゼントします。詳しくは15ページ。

3月から、萩八景遊覧船 運航が始まります

小舟に乗ってのんびり巡る萩八景遊覧船が、今年も3月1日から運航を開始します。

今年で運航5年目。昨年は過去最高の2万2876人が乗船しました。また、萩おもてなし大賞を受賞した船頭さんの陽気なガイドと、船上で唄われる萩民謡「男なら」で、新たな萩観光の魅力を作り出しています。

昨年8月完成した旧城苑跡地の発着場から、定員12人の屋形船に乗って、橋本川を往復する約5km、40分の船旅。桜の季節には桜並木を眺める6分コース、好天日には日本海までコースを延ばします。



川土手の満開の桜を眺めながら

▽運航 3月1日～11月30日、午前9時～午後5時（受付4時まで）
▽乗船料 大人1200円、小人600円
▽観光課（253139）、乗船場（09079986060）



山口県漁協協同組合
玉江浦支店 支店長

倉増 均 さん

(萩市西田町在住 50歳)

倉増 均 (くらます ひとし)
昭和33年 萩市生まれ。明倫小→明
経中→萩商業高校卒業。萩市玉江浦漁
協に入職し、現在は山口県漁業協同組
合玉江浦支店・支店長

新しいことが大好き

昭和51年に萩商を卒業、当時の萩市玉江浦漁協に就職し、その後の2回(山口はぎ漁協→山口県漁協)の漁協合併を経て、現在は山口県漁業協同組合玉江浦支店の支店長を務めています。

支店内の各種業務を統括する立場にありますが、新しいことが大好きという性格もあって、近年は新規事業としてスルメイカの加工品開発に取り組んでいます。製品開発の計画策定から、漁業者の皆さんとの協議、加工事業者との折衝や、地元女性グループへの協力要請、そして流通ルートの確保や、パンフレット・ホームページなど各種宣伝広報ツールの制作と、新製品開発に伴う一連のプロセスを苦労しながらも楽しく進めさせて

頂いています。

スルメイカ沖漬けを商品開発

現在、玉江浦には8隻のイカ釣り漁船が操業しています。操業海域は萩沖の20マイル以遠、年間のスルメイカ水揚げ量は約300トン内外です。萩名物のケンサキイカの陰に隠れ、なかなか表舞台に立てず、市場での価格も低迷しています。地元でも「鬼イカ」などと呼ばれ、あまり高く評価されていませんが、スルメイカは全国各地で「真いか」と呼ばれるように日本を代表するイカなのです。このスルメイカに付加価値を付けて、玉江浦の新しい特産品として売り出していこうということになり、目をつけたのが「沖漬け」。文字通り、沖の漁場で釣ったのイカを活きたまま船上の醤油桶に

入れ、まるごと醤油漬けにするという製品。漁師料理として、古くから日本海沿岸の漁浦に受け継がれてきた伝統製法です。かつて、玉江浦のイカ釣り船も、船団を組んで北海道方面まで操業範囲を広げていました。その頃に本場北海道で沖漬けの製法を学び、さらに工夫を加えて製品化してきた実績があります。それらの経験をベースに、漬けたレの改良やパッケージの工夫を重ね、昨春秋によりやく製品化することができました。

販路についてもホテル旅館や料理店・居酒屋など業務用で採用頂けるところも増えてきています。一般消費者向けにも、道の駅等での試食販売やインターネットによる販売も現在準備を進めているところ。本格的な沖漬け製品の量産はこの3月から。一定の需要(売上)を確保して、漁業者の皆

さんに少しでも還元できるようにしていくことが自分の使命と肝に念じています。

塩辛お試しセットも

沖漬けのほかにも、スルメイカを使った加工品として、一夜干しや塩辛を開発中です。特に塩辛については、漁業者それぞれに個性豊かな塩辛を自家用に作っています。皮の処理や塩の量、そして内臓の添加方法にそれぞれ秘伝の技があり、その味わいも船ごとにまったく違います。これを一定の製法で規格化していくというのが、本来の商品開発のABCだとは思いますが、逆に船ごとに味わいが違うという事実を活かそうと考えています。よく日本酒で利き酒セットというのがありますが、船ごとに違う塩辛を小瓶に入れ、例



◀塩辛お試し
セット
▼スルメイカ
沖漬け



★プレゼント

スルメイカ沖漬け製品を、抽選で3名様にプレゼントします。詳しくは15ページ。

例えば5種をセットで販売、一番お好みに近い塩辛を次回からは大瓶で選んで頂く。ちよつと手間はかかりそうですが、こんな販売方法も試してみたいと考えています。また、スルメイカ以外にも利用価値が低く主に飼料用として処分されている魚種にチャブクロ(小型のソーダガツオ)があります。ここ玉江浦でも定置網で大量に漁獲されています。四国では「姫カツオ」などの名称で、燻製スティックに加工され、土産用に入気があると聞きました。工夫次第では、まだまだ開発していける素材が、ここにはいっぱいあるように思っています。当面はスルメイカに没頭することになるとは思いますが、引き続き、この玉江浦の持つ海の資源について、いろいろな可能性を試していきたいと考えています。(談)

山口県・山東省友好締結25周年記念事業

中国山東省で「三輪休雪陶芸展」

11月11日から12月21日まで、約6週間、山東省博物館で、「紀念中国山東省・日本山口県締結友好関係25周年三輪休雪陶芸展」が開催されました。

これは、山口県と山東省が1982年に締結した友好協力協定の四半世紀を祝い、友好関係をより深めるために企画されたもので、

展示会では、「生」と「死」をテーマに、十二代三輪休雪氏の大型オブジェ作品15点が展示されました。現代日本陶芸の大型オブジェを紹介する展示会は、中国では初めてのことで

また、11月11日には、伝統と革新をテーマとした「現代陶芸シンポジウム」も開かれ、山東工芸美術学院の学生約200人も参加し

ました。

陶芸文化の本来筋とも呼ぶべき中国では、オブジェは異端視されがちです。しかし、今回の展示で、三輪氏のオブジェは圧倒的なスケール感を発し、観覧した人たちは大変興味深そうに作品を観覧していました。

今回の展示会について、三輪氏は「展示会の会場は、今までで一番大きくて豊かなものだった、中国という国の大きさをいろいろなところで感じた。また、現代陶芸を中国に見せたのは初めてで、その点で意味のある展示会だったと思う。中国の人たちが現代陶芸に目覚めると恐いことになると感じた」と話されました。

作品は「金彩龍呼 No. 5」



図録

萩博物館 ☎0838・25・6447

4月16日(水)ー6月29日(日)

萩・夏みかん物語 ～初夏の萩を10倍楽しむ♪～

萩の特産物である夏みかんについて、花が咲き、実を食べる時季にその栽培の歴史や萩の観光との関わりなど、秘められた様々な話題で、夏みかんと萩のまちを楽しく再発見できます。

7月12日(土)ー8月31日(日)

風雲! 昆虫城 ～カブトムシたちの戦記～

萩には、昆虫たちが共存して暮らす城(昆虫城)があります。もしここに、よその昆虫が侵入したらカブトムシはじめ城の昆虫たちはどう防衛し、どんな運命をたどるのか!? 郷土の自然に迫りつつある「危機」を物語風にアレンジして展示します。

9月13日(土)ー11月9日(日)

明治維新140年記念特別展 明治維新の光と影

11月13日(木)ー1月7日(水)

明治維新140年記念特別展 明治維新と萩

1月16日(金)ー4月8日(水)

初公開! 萩博物館の「宝」

高杉晋作資料室

9月27日(土)ー11月30日(日)

『坂の上の雲』の時代 ～晋作同志のその後～

県立萩美術館・浦上記念館

☎0838・24・2400

※3月3日～4月4日 全館休館

4月5日(土)ー5月18日(日)

北斎～シーボルトの見た日本～

文政6年(1823)、シーボルトとオランダ商館長は、日本人の生活ぶりを描く40点の作品を葛飾北斎から受け取りました。今回、この40点が初めて一括して里帰ります。



葛飾北斎

「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」
大判錦絵 天保2～5年(1831～34)

これらの作品には西洋風の陰影法が用いられ、見慣れない北斎と思われることでしょう。浮世絵版画、肉筆画など約200点を展示し、「おなじみの北斎」と「初めての北斎」の二つの視点からお楽しみください。

5月27日(火)ー7月13日(日)

仏教美術の黎明ー中国山東省石仏展ー

7月19日(土)ー8月17日(日)

没後150年記念 広重の風景版画展

8月26日(火)ー10月26日(日)

カルロ・ザウリ展 イタリア現代陶芸の巨匠

※長期休館 10月27日～平成21年7月3日
平成22年度に開館予定の陶芸展示施設の建築工事のため休館

情報アラカルト

北陸地区

■第39回日展

吉賀将夫が日展評議員として出展します。

4月26日(土)～5月18日(日)
石川県金沢市広坂1・2・1金沢21世紀美術館
(076・220・2800)

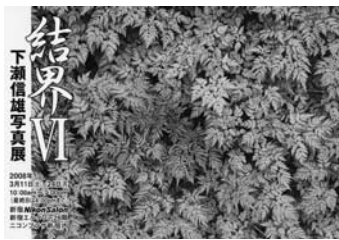
関東地区

■濱中史朗「釉薬／黒」

3月1日(土)～9日(日)
東京都港区元麻布3・12・46さる山(03・3401・5935)

■下瀬信雄写真展「結界Ⅵ」

3月11日(火)～24日(月)



東京都新宿区西新宿1-6-1
新宿エルタワー28階
新宿ニコンサロン
(03・3344・0565)

■岡田裕作陶展

3月5日(水)～10日(月)
東京都豊島区西武池袋本店
(03・3981・0111)

■日本現代工芸美術展

吉賀将夫が出展します。

3月26日(水)～4月4日(金)

東京都台東区上野公園 東京都美術館
(03・3823・6921)

■明屋書店(首都圏店舗)で萩関係書籍のブックフェア開催中
ブックレットシリーズ「萩ものがたり」(全16タイトル)を中心に、萩関連の書籍を集めたブックフェアが開催されています。

▽3月下旬まで
東京都中野区中野5・52・15
中野ブロードウェイ3階 明屋書店・東京中野店
(03・3387・8451)

▽4月上旬
東京都西五反田1・3・8 五反田御幸ビル1階 明屋書店・五反田店
(03・3492・3881)

■アートフェア東京2008
「フジキ画廊」に三輪華子が出展します。

4月4日(金)～6日(日)
東京都千代田区丸の内3・5・1
東京国際フォーラム
(03・5221・9000)

■手工芸大博覧会
萩市で、アートフラワーやアート盆栽、萩人形などを指導している岡野芳子が出展します。

4月9日(水)～14日(月)
東京都台東区 松屋浅草
(03・3842・1111)

■鎌倉まつり

鎌倉まつりパレードに、萩から奇兵隊が参加します。

4月13日(日) 午前11時～午後1時30分(予定)
鎌倉市若宮大路

■十二代三輪休雪 創造の軌跡展
4月17日(木)～23日(水)
東京都新宿区 京王百貨店
(03・3342・2111)

関西地区

■大阪指月会

関西地区の萩高同窓会
4月13日(日) 正午
大阪市北区 大阪弥生会館
(06・6373・1841)

■第39回日展
吉賀将夫が出展します。

3月23日(日) まで
大阪市天王寺区茶臼山町1・82
大阪市立美術館
(06・6771・4874)

■下瀬信雄写真展「結界Ⅵ」
4月17日(木)～22日(火)
大阪市北区梅田2・5・2 新サンケイビル1階 ニコンプラザ大阪
(06・6348・9698)

■岡田裕作陶展
4月22日(火)～28日(月)
大阪市中心区 そごう心斎橋本店
(06・6281・3111)

中国地区

■澤江衣里コンサート

萩光塩学院高等部卒のソプラノ歌手のコンサート(6ページ)。

3月28日(金) 午後6時30分
島根県益田市有明町5・15 島根県芸術文化センター「グラントワ」
(0856・31・1860)

山口県関係

■岡林信康コンサート

3月8日(土) 午後6時30分
阿武町奈古 阿武町民センター
チケット料金 一般4000円、60歳以上3000円、小中高生2000円(当日500円増)

萩ネットワーク事務局 長嶺
(08388・50418)

■中村眞一と西村勉二人展
4月10日(木)～5月11日(日)
長門市仙崎1151 ギャラリー龍瑞亭(0837・26・0855)

■萩 船崎透作陶展
4月16日(水)～21日(月)
周南市銀座2・14 近鉄松下百貨店
(0834・21・5000)

■躍動展
藤崎恒頼はじめ、萩、長門、宇部で活動する画家の作品を展示。
4月17日(木)～22日(火)
長門市東深川 ウェーブ
(0837・22・4830)

4月24日(木)～27日(日)
宇部市 宇部文化会館
(0836・31・7373)

九州地区

今年の秋は、萩四高校合同同窓会

4年に1度の萩高、萩商業高、萩工業高、萩光塩学院4校の合同同窓会が開催されます。

【東京】第3回萩四高校在京同窓会
▽10月25日(土)
午後2時30分～5時
▽東京都港区 日本工業倶楽部(JR東京駅丸の内北口)
【大阪】第6回萩同郷会
▽11月16日(日) 予定
正午～午後3時
▽大阪市北区 大阪弥生会館(JR大阪駅北口)

■第39回日展

吉賀将夫が出展します。

3月29日(土)～4月20日(日)
福岡市中央区大濠公園 福岡市美術館
(092・714・6051)

萩市関係

■萩光塩学院小学校 休校式

卒業式の後に行われます。
3月16日(日) 午前11時30分
萩光塩学院体育館
(0838・22・0782)

■萩城下の古き雛たち
4月3日(木) まで
会場 旧久保田家住宅、菊屋家住宅、青木周彌旧宅、萩博物館、田町商店街、旧田中別邸、旧山中家

新規加入会員ご紹介

末武則夫さん (神奈川県茅ヶ崎市)
上田俊成さん (秋市)
内田清美さん (東京都江東区)
坂中勇介さん (秋市)
田中隆志さん (秋市)
伊藤潤一郎さん (千葉県市川市)
藤田擴さん (秋市)
三原正光さん (秋市)
出羽伸次さん (東京都文京区)
中村恵理子さん (福岡県久留米市)
佐伯理恵さん (岩国市)
山中千明さん (兵庫県神戸市)
(12月26日～2月27日 24人)

篠倉牧代さん (兵庫県神戸市)
米倉麻美さん (兵庫県神戸市)
植田智和さん (神奈川県横浜市中区)
田村コヨさん (奈良県奈良市)
白石真さん (秋市)
杉村如子さん (広島県広島市)
磯部薫さん (千葉県習志野市)
藤井孝子さん (東京都武蔵野市)
和田真教さん (秋市)
森井緑朗さん (東京都港区)
湯本隆仁さん (東京都中野区)
山口テレコム株 (宇部市)

住宅、梅屋七兵衛旧宅、旧湯川家屋敷、伊藤博文別邸
問い合わせ 萩市観光課
(0838・253・3139)

■彩陶庵の企画展

工藤茂喜展「漆」

4月12日(土)～20日(日)

萩市呉服町1・3 彩陶庵ロフト

(0838・253・3110)

■傳宿 天十平の企画展

清水善行うつわ展

京都で作陶する若き実力家の個展。熊本県出身

3月29日(土)～4月8日(火)

萩市南古萩町33・5

傳宿 天十平

(0838・266・6474)

■ヴィレッジコンサート

穂吉敏子(ピアノ)とルー・タバキン(サクソ、フルート)の夫婦デュオ。至近距離ライブは贅

沢の極みです
5月30日(金) 午後7時30分と午後9時15分の2回公演
料金 8500円
萩市土原291・1 ヴィレッジ
(0838・256・6596)

テレビ・ラジオ情報

■NHK総合・教育テレビ

「産地発! たべもの一直線」

4月13日(日) 「萩の真ぶぐ」が登場!!

地産地消を応援する俳優の永島敏行がメインコメンテーターを務める35分枠の番組。萩沖千里ヶ瀬近辺でのマフグ漁操業の様子からその料理法や新開発した加工品への取り組みなど、じっくり35分間「萩の真ぶぐ」に絞って紹介される予定。スタジオ出演する生産者は、萩市越ヶ浜のぶぐ延縄漁船…



【総合テレビ】4月13日(日) 6:15～6:50
【教育テレビ】4月18日(金) 昼12:00～12:35(再)

■NHKBS2テレビ

「三枝一座がやってきた!」

4月24日に萩市民館で公開録画されます。座長の落語家の桂三枝さんやタレントの相田翔子さんら笑いの一座が、萩の様々な話題を紹介しながら、ふるさと落語を創作、披露します。

放送予定日 5月29日(木) 午後7時45分～8時29分

放送局 NHK衛星第2テレビ

■映画「長州ファイブ」のテレビ放映

放送局 CS日本映画専門チャンネル

放送日 3月9日(日) 22時～、16日(日) 12時～、20日(木) 祝 19時～、22時(土) 13時～、4月5日(土) 22時～、11日(金) 0時～

■「松風の人ー吉田松陰とその門下」

高杉晋作、久坂玄瑞、伊藤博文、津本陽

出版情報

山県有朋・維新回天を先駆けた英傑を育てた吉田松陰の「獅子の道」を描く。

四六判/369ページ

定価 1680円

発行 潮出版

■「いかで忘れん久子と松陰」

安政元年、萩・野山獄に投獄された吉田松陰は、囚人のなかで紅一点の高須久子と出会う。やがて二人は、獄中講話、俳諧のやりとりから心を通わせていく。新たな視点から二人の交情と人間吉田松陰を鮮烈に描く長編力作。

四六判/251ページ

定価 1900円

発行 新人物往来社

■「農と環境と健康」

われわれはなぜ、人類や文明がいま直面している数々の驚異的な危機に思いが及ばないのだろうか。環境問題解決の糸口として今、「農医連携」が求められている。

陽捷行さん(北里大学副学長)は萩高14期(昭和37年卒)。

311ページ

定価 2100円

発行 アサヒビル株式会社

プレゼント

★スルメイカ沖漬け製品(3名様)

★にぎり酒「香雪」(3名様)

★応募方法 ハガキに氏名、住所、電話番号、近況などを明記のうえ、萩ネットワーク協会プレゼント係まで。締め切りは3月31日(消印有効)。

萩ネットワーク協会年会費3年分で500円割引

萩ネットワーク協会では、年会費を3年分まとめてお支払いされた方の年会費を割り引く特典を始めた。

長期会員への特典 一般会員の3年分の年会費6000円を5500円に(500円割引)

(郵便振替のみの扱いとなります)

GW中のイベント

●萩焼まつり

▽5月1日(木)～5日(月・祝) 午前9時～午後5時30分

▽萩市民体育館

●萩・大茶会

▽5月3日(土・祝)、4日(日・祝) 午前10時～午後3時

▽萩城跡・指月公園、萩博物館

●萩往還まつり「技・明木展」

▽5月3日(土・祝)、4日(日・祝) 午前10時～午後5時

▽明木周辺

萩の郷土料理あれこれ

近年のスローフード人気で、各地に伝わる郷土料理がその価値を見直されつつあります。海の幸・山の幸に恵まれた萩地区では、ちしゃなます・のっぺい・いとこ煮・蕪雄煮など有名ですが、それ以外にも、庶民が古くから受け継ぎ守り続けてきた郷土料理がたくさんあります。いずれも旬の食材を活かした秀逸な一品、しかもそれぞれに「物語」がこめられています。



干しフカのぬた和え

フカとは鮫のこと。見島での代表的な調理法は干したフカを細かく削いでネギと一緒に炒めて酢味噌で和える「干しフカのぬた和え」。かつて見島では、船降ろし（新造船の進水式）や家屋の新築時の御祝い料理として、なくてはならない一品だったとのこと。さっそく漁家の奥様に調理していただき、試食させていただいたところ、フカの身の旨みが凝縮された味わいで、クセや臭みも全くなく、温かいご飯との相性も抜群でした。



ずんべ飯

ずんべ飯（嫁の皿飯）は、殻を除去した嫁の皿を貝にを使った炊き込みご飯。貝の旨みとコクが味わえる素朴な料理です。漁師料理というよりは、海辺に近い農家の料理。かつて、農繁期が始まる前の3月下旬から4月頃、忙しくなる前の家族団らんの行楽行事として、一家総出で近くの海岸に弁当持ちで遊びにいったとのこと。その際、海岸で火を起こし、子供たちが現地調達した嫁の皿を貝に、炊き込みご飯を炊いて楽しんだという。



剣先イカの塩辛

萩地区にはケンサキイカを使った高級な塩辛が漁家に受け継がれています。港に水揚げされたばかりの新鮮なイカを手早くさばき、身を刺身状に切り、下足やエンペラも細かく切って、荒塩をまぶして手で揉み込み、甕の中に入れます。一日一回は必ず甕の蓋を取って、全体をかき混ぜる。そうして、だいたい2週間程度漬ければ出来上がり。内蔵を使用しないため、あっさりとした味わいで、食べる際にはダイダイ酢を絞って、というのが定番であったようです。



しろ魚の天ぷら

萩の早春の風物詩シロウオ。今では小型漁船による川中での漁ですが、かつては河口近隣の農民が、農閑期の生業として、藩主にシロウオ漁の特別許可をもらって操業したと伝えられています。活きたシロウオを水洗いしてそのままスイチ（酢醤油）で食べる踊り食いが有名。人気があるのは天ぷらで、目の前で揚げたてを賞味、見た目も美しく、これが一番美味しい食べ方だと思います。



小いか煮付け

小さくても、イカの女王ケンサキイカの子供、優しい味と柔らかい身が人気です。主に春先、定置網で漁獲され、この時期になると魚屋の店頭にも並びます。1パック20パイ前後入って値段は300円内外、安い食材なので漁家や一般の家庭でもいろいろな料理法で利用されてきました。定番料理は、調理が簡単で、しかも見た目も良い子イカの煮付け。水洗いして、一口大に切った大根や人参など季節の根菜と一緒に煮付けます。



なめたふぐのタタキ

ナメタフグとは、マフグの地方名。トラフグなどと違って表皮にトゲトゲがなく、滑らかなことから、この名前で呼ばれるようになりました。萩地区では、古くからフグ刺し、ちり鍋、雑炊などで親しまれてきたご当地フグです。漁師さんの中には、ミガキ（有毒部除去）にしたマフグを炭火で丸ごと焼いて、身をむしるように豪快に楽しむ方もおられます。トラフグに比べやや水分が多いため、サク取りした表面を強火で炙るタタキが秀逸。